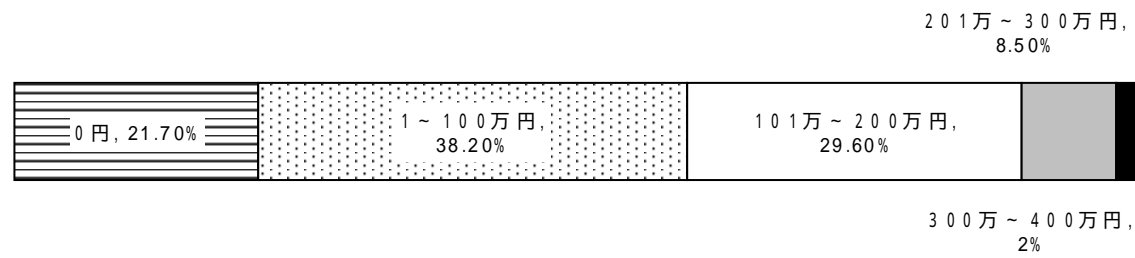


嵐山町でも子どもの貧困は増えています。
医療費窓口払い廃止と学習支援は必要です。

1人親家庭等の90%近くが、年間200万円以下の所得です。

嵐山町児童扶養手当受給者の所得分布



現金がないと医療機関にいけないこと・遅れることもあります。

町の政策では子ども医療費を助成しています（現在、窓口払い後、申請で給付しています）
子ども医療費窓口払い廃止の場合、国民健康保険国庫負担金廃止（370万円増）
無料なので医療機関に行く回数が増（2680万円増）

このように窓口払いの廃止は町財政の負担が増えるので（合計3050万円）マイナスです。
嵐山町では窓口払いを続け、他の子育て支援策として

小学校（1万円）・中学校（2万円）の学年費助成、保育園費・予防接種の助成をしています。
ですが、窓口払いを廃止しても、医療費増額を抑える方法はありません。

12月議会の一般質問で、窓口払い廃止は、学年費の補助と共に可能ですと働きかけたのですが、町長は、準備をして子どもを育てるべきであって、当面行わないといひます。

けがや病気は予定外支出です。子どもが辛い思いをしないため、手厚い施策を！

政治倫理にかかる公金返金請求の裁判は上告しました。

町長がM議員に町立吉田集会所事業のふれあい講座講師料を長年支出していました。町が嵐山町議会政治倫理条例に反した請負を行った議員に23万円の支出をするのは違法であると、町長が議員に返金命令することを求める訴訟をしていました。東京高裁でH24年11月22日棄却されました。

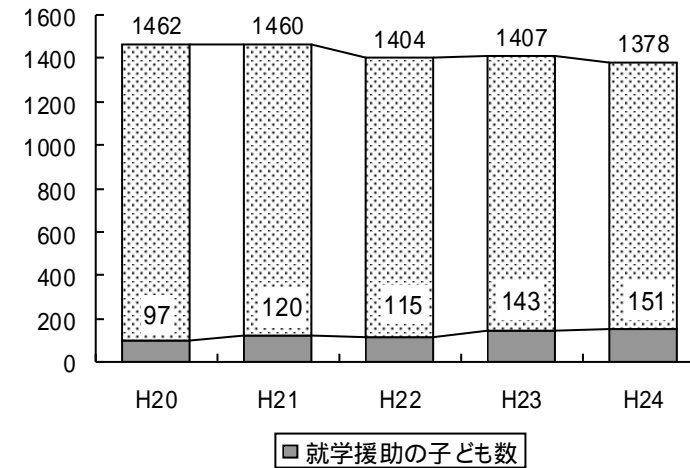


裁判所の判決は判例違反だと考えられます。今までの判例では、政治倫理条例違反があるかどうかで判決しています。本判決では条例違反を問題にしていません。裁判は政治倫理条例を裁判規範として考えるべきという理由で上告しました。

【経緯】H21年に明らかになった同議員の町立吉田集会所管理人請負は、法律違反で、公にすると辞職勧告を提案せざるをえないのです。公にせず処理しました。2度も政治倫理にかかる町支出を不問にするのでは、議会政治倫理条例の意味がなくなります。不問にしないため、政治倫理審査請求しましたが、当時の議長が政治倫理審査会に請求しなかったため、提訴しました。

グラフでわかるように、就学援助の子どもはH20年6.6%が、H24年は11%になっています。

小中学校子ども数と就学援助の子ども数



■ 就学援助の子ども数

医療券で適正受診を

平成23年度の決算額より
就学前の子どもは、平均1回1543円、年間15回
小中学校の子どもは、平均1回1919円、年間8回
医療機関にお世話になっています。

子ども医療券・乳幼児医療券の配布
1年間に平均回数よりも少ない枚数の医療券を配布し、医療機関に協力を求め、窓口払いをなくす方法。医療券を使い切ったら、窓口払い後申請して、助成する方法を提案します。

吉田集会所を廃止し、子どもの学習支援の充実を

私は町立吉田集会所事業経費（H24年予算は315万円）を七郷小・菅谷小・志賀小・玉ノ岡中・菅谷中の子どもの学習支援など新しい人権政策に使うよう提案します。

町立吉田集会所ではふれあい塾といって、七郷小の子どもたちに放課後、学習やパソコン教室、地域の大人とのふれあいを町経費（H23年決算は約21万円）で行っています。菅谷小や志賀小では行われていません。

町立吉田集会所は、社会的同和解決のための公共施設です。昭和49年に斜面地に建設されました。震災を考えると、公共施設なので耐震改修も必要はなはず。今後、耐震改修費や毎年維持管理費が必要になります。

町立吉田集会所は十分役割を果たしました。町も皆さんも事業評価し、同和問題を人権問題の一つとして、町立吉田集会所をどうするか議論してはどうでしょうか？

広い遊び場がほしい

= 友達と外で遊ぶ場所がない =



総務経済委員会は「まちづくり」を調査しています。町の将来を予測し、財政を持続し、皆さんの願いがバランスよく実現できる方法を考えます。

12月は、七郷小・菅谷小・志賀小の5年生と意見交換をしました。

- ・ 嵐山町のいいところは、自然が多いところ。
- ・ 人とのふれあいがあるところ。
- ・ 大きくなって自然がある町に
- ・ 広い遊び場があるといい。
- ・ 公園は小さい子がいてボール遊びをすると危ない。
- ・ ゲートボール場はつかっていいのかわからない公園や時間を書いてほしい。
- ・ 自転車にのっても危ない道にしてほしい。
- ・ 信号をつけてほしい。



？ 広い公園がほしいというような意見を周りの人に伝えていく方法は何か考えられますか。

- ・ 回覧板に書いてまわしていく。
- 今、子どもの意見を聞く場がないですね。

1月・2月は、区長会や女性、若い人との意見交換をお願いしています。

皆さんが感じていることなど教えてください。

2月16日は皆さん、ご自由に参加してください。たくさんの方に意見をいただけることで

委員会の調査が充実します。

日時 2月16日（土）1時30分～

場所 ふれあい交流センター

主催 嵐山町議会総務経済常任委員会

（委員長河井勝久・副委員長小林朝光・

青柳賢治・川口浩史・渋谷登美子・

森一人・吉場道雄）

